各位

2017 年 1 月
ケイスリー株式会社

経済産業省主催「ソーシャル・インパクト・ボンド導入モデル事業報告会」開催のご案内

経済産業省では、新しい官民連携の手法「ソーシャル・インパクト・ボンド」（以下「SIB」）のヘルスケア分野における導入を推進しています。

平成 27 年度は実証事業や検討会を実施し、平成 28 年度は複数の自治体と具体的な案件形成を進め、SIB 導入モデルの創出に取り組んでいます。これにより、平成 29 年度から「成果連動型かつ複数年度契約による日本初の本格的な SIB」が複数の自治体において導入される見込みです。

本報告会では、これらの具体例を中心に、SIB 導入に向けたポイントや課題を説明するとともに、今後、日本での SIB 導入をさらに推進する上での課題や新たな取組みについて、実際に導入に関わる政府、自治体、中間支援組織、資金提供者など、多様な関係者により議論・情報交換を行います。SIB 導入にご関心のある方は、是非ご参加ください。

※経済産業省プレスリリース

http://www.meti.go.jp/press/2016/12/20161227005/20161227005.html

※ソーシャル・インパクト・ボンド（Social Impact Bond：SIB）とは

SIB とは、行政の成果連動型支払契約と民間資金の活用を組み合わせた官民連携手法の一つで、民間の資金やノウハウを活用して革新的な社会課題解決型の事業を実施し、行政はその事業成果（社会的コストの効率化部分）等を原資に成果報酬を支払います。2010 年に英国で世界初の SIB 案件が始まって以降、欧米を中心に 10 か国 60 案件以上で導入が進んでおり、日本でも導入に向けた取組みが始まっています。

記

１．イベント概要

日　時　：2017 年 2 月 13 日（月）14:00～16:30　（開場：13:30）

場　所　：日本財団ビル 2 階大会議室（東京都港区赤坂 1-2-2）

主　催　：経済産業省

対象者　：主に地方自治体等行政関係者、金融機関など

費　用　：無料

申込方法：以下の参加申込フォームへ必要事項をご記入いただき、お申込みください。

https://goo.gl/forms/B5BhdvCsPfPteRlb2

参加申込フォームよりお申込みできない場合等は、必要事項（氏名、氏名（カナ）、所属組織、所属部署、役職、メールアドレス）をご記入の上、「３．お問い合わせ先（事務局）」よりご連絡ください。なお、参加者が多数の場合、先着順による受付となりますので、ご了承ください。

各位

2017 年 1 月
ケイスリー株式会社

２．プログラム　※変更の可能性あり

①オープニング

江崎禎英　（経済産業省ヘルスケア産業課　課長）

②SIB の概要と国内外の最新動向

幸地正樹　（ケイスリー株式会社　代表取締役）

③経済産業省による SIB 事業概要

石田直美　（株式会社日本総合研究所コミュニティインフラデザイングループ部長）

④SIB 導入モデルの紹介

Ⅰ．大腸がん検診受診率向上

幸地正樹　（ケイスリー株式会社　代表取締役）

Ⅱ．糖尿病性腎症重症化予防

藤田滋　（公益財団法人日本財団社会的投資推進室）

⑤パネルディスカッション　「日本での SIB 導入促進に向けた課題と今後の取組み」

（モデレーター）

幸地正樹　（ケイスリー株式会社　代表取締役）

（パネリスト）

江崎禎英　（経済産業省ヘルスケア産業課　課長）

藤田滋　（公益財団日本財団社会的投資推進室）

石田直美　（株式会社日本総合研究所コミュニティインフラデザイングループ部長）

その他、金融機関、地方自治体など

⑥質疑応答

３．お問い合わせ先（事務局）

会社名：ケイスリー株式会社

担当者：幸地正樹

連絡先：info@k-three.org

以上